

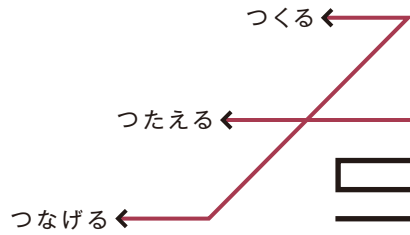


個の力を引き出す。

名古屋市立大学 広報誌

創 innovation 新

Courage to Challenge



S O - S H I N

秋 号

2013

AUTUMN

vol. 77



Photo Index

1	3	4
2	5	

- ① ② ③ 大学祭の様子
芸工祭 / 10月19日・20日 薬学祭 / 10月26日・27日
川澄祭 / 11月2日・3日 市大祭 / 11月9日・10日
- ④ 「Apollo3号」発行 (10月1日)
- ⑤ 名古屋市立大学交流会 懇親会での集合写真



平成25年10月19日(土)
名古屋市立大学交流会 懇親会

目次

学長メッセージ / 広報information……P1 平成24年度 決算について / 業務実績評価結果……P2 名市大ニュース……P3・4 受賞関連 / 教員著書・発行人紹介……P5
 人事情報 / 国際交流 / こころのことを考えよう……P6 イベントカレンダー / 寄附顕彰 / 秋の叙勲……P7



「薬学部田辺通キャンパスの改築工事完了」



理事長・学長 戸苅 創

Hajime Togari

CLICK!

ウェブサイト「名市大の矜持—学長室から」も是非ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/1759.htm>

此のたび、最後に残りました駐車場・駐輪場等の整備が終了し、薬学部田辺通キャンパスの改築工事は全て完了しました。すでに2年前に完成していましたが研究棟に連結する形で実習棟、カフェテリア、さらに講義・図書館棟が出来ました。ここには多額の寄附を受けて最新の設備を備えて設置されました285名収容の宮田専治記念ホールがあり、学生への講義の他に、外国からのお客様を招いての講演会、国際シンポジウム等々まさにグローバルな施設として利用されていくものと期待されています。キャンパスの中央部分には、本学が全国にその規模と薬用植物の種類数を誇っております「薬用植物園」がありますが、これも改修して、学生が生薬等に関する生きた知識を学ぶだけでなく、毎年春秋に一般市民の方に解放して本学の教員

および学生が講義や説明の提供を行い大変好評を得ています。

本学が保有します4キャンパスのうち、次の改修整備が求められていますのは滝子キャンパスの3号館（経済学部棟）、4号館、5号館（自然科学研究教育センター）、6号館（総合情報センター）および図書館等です。東日本大震災を受けて耐震改修は無事終了していますが、時代に即したりニューラル改修はこれからです。今後は実現に向けて進めて参りたいと思います。



整備された田辺通キャンパス

広報 INFORMATION

教職員限定サイト 広報ページがリニューアルしました

広報に関する情報をより分かりやすくお伝えするために、教職員限定サイトの広報ページをリニューアルしました。

こんなときにご活用ください



URL ▶▶▶ <https://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/1013.htm>

- 取材を受けたときや、プレスリリースをしたいとき
※プレスリリースの実例も掲載しています。
- ウェブサイトへニュースやイベントの告知を掲載したいとき
- 学内広報誌「創新」や大学概要、学部パンフレットを見たいとき
- 学章の画像データを使用したいとき

広報セミナー

「10分でわかる広報のポイント」

各教授会の場をお借りして実施中！
「プレスリリース資料の作成方法が分からない」「どこにリリースすればよいか分からない」など、日頃よくいただく質問について、ポイントを簡潔にお伝えします。



▲芸術工学研究科教授会でのセミナーの様子



平成24年度 決算について

<貸借対照表>

貸借対照表とは、法人の財政状態を明らかにするため、期末日におけるすべての資産、負債及び純資産の科目をひとつの表にしたものです。

貸借対照表(概要)

平成25年3月31日 (単位:百万円)

資産の部		負債の部	
土地	21,217	資産見返負債	7,545
建物等	34,774	リース債務	2,840
備品	6,475	寄附金債務	2,125
図書	6,048	未払金	3,612
ソフトウェア	202	その他	1,147
投資有価証券	50	負債合計	17,269
現金・預金	5,004		
未収附属病院収入	3,923	純資産の部	
医薬品・診療材料	393	資本金	66,698
未収入金	551	資本剰余金	△6,948
その他	363	利益剰余金	1,971
		その他	10
資産合計	79,000	純資産合計	61,731
		負債・純資産合計	79,000

平成24年度決算は、前年度末と比較すると、野外教育施設の売却による建物の減少や、名古屋市への積立金の返納による現金の減少などにより、資産合計で約34億円の減少となりました。

<損益計算書>

損益計算書は、法人の一会計期間の運営状況を明らかにするため、法人のすべての費用とこれに対応するすべての収益とを記載して、当期総利益を計算するものです。

損益計算書(概要)

平成24年4月1日～平成25年3月31日 (単位:百万円)

経常費用		経常収益	
教育研究経費 ※1	2,597	運営費交付金収益	6,411
診療経費	13,071	授業料等収益 ※3	2,467
受託研究経費等	552	附属病院収益	21,783
人件費	16,061	受託研究等収益等	1,356
一般管理費	703	補助金等収益	176
その他 ※2	23	施設費収益	135
経常費用合計	33,007	その他 ※4	760
経常利益	81	経常収益合計	33,088
当期総利益	122		

※1 教育経費、研究経費、教育研究支援経費 ※2 財務費用、雑損

※3 授業料収益、入学金収益、検定料収益、手数料収益

※4 その他業務収益、資産見返負債戻入、財務収益、雑益

前年度と比較すると、「経常収益」は運営費交付金収益が減少する一方、手術件数の増加や平均在院日数の短縮など、様々な経営努力により、附属病院収益が大きく増加しました。これに対し「経常費用」は診療経費の増などにより、経常収益を上回る伸びを示し、その結果経常利益は約8千万円にとどまりました。なお、臨時損益計上後の当期総利益は、約1億2千万円となりました。

業務実績評価結果について

全体評価

平成24年度は、年度計画をおおむね計画どおり進めており、全体として中期目標・計画の達成に向け、前進しているものと認められる。

項目別評価

大項目名	小項目数	平成24年度 評価結果	平成23年度 評価結果(参考)
教育	53	おおむね計画 どおり実施 ※	おおむね計画 どおり実施 ※
研究	16	おおむね計画 どおり実施 ※	おおむね計画 どおり実施 ※
社会貢献等	7	B	A
大学の国際化	4	A	A
附属病院	27	A	A
業務運営の改善及び効率化	9	A	A
財務内容の改善	10	A	B
自己点検・評価、情報の提供等	8	A	A
その他の業務運営	21	B	A

※教育・研究については、地方独立行政法人法第69条の規定により、その特性に留意し、小項目評価及び大項目評価は行わず、事業の進捗状況を客観的外形的に確認する。

S 特筆すべき進行状況(特に認める場合)	C やや遅れている(達成度が9割未満)
A 計画どおり(すべて達成)	D 重大な改善事項あり(特に認める場合)
B おおむね計画どおり(達成度が9割以上)	

■特筆すべき取り組み

①人文社会学部における学部教育の再編成・改組の準備

人文社会学部は、1996年の発足以来、「well-being(豊かで人間らしい生き方)を可能にする社会の実現への貢献」を学部理念としてきたが、これを地球環境危機、グローバル化、少子高齢化、エネルギー・資源問題といった21世紀的課題に対処するための教育、すなわち「ESD(持続可能な開発のための教育)」の観点を加えて発展させ、平成25年4月からの再編成・改組の準備を整えた。

②先進医療の積極的な申請推進

附属病院では、「硬膜外自家血注入療法」、「術後のホルモン療法及びTS-1内服投与の併用療法」及び「腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術」の3つの技術を厚生労働省へ申請し、先進医療実施施設として認定された。また、先進・高度医療支援費対象患者審査制度を利用した先進医療については、10技術に対し支援を行った。

■意見、指摘事項

①全学的な地域貢献を推進するセンターの設置計画策定

文部科学省に申請した大学COC事業での「ソーシャル・キャピタル・センター(仮)」との位置づけについて早急に精査し、全学的なセンターを創設することを要望。

②新入生の英語力調査(TOEIC IP試験)の実施

英語力調査(TOEIC IP試験)を2回にわたり実施したことは、第一期中期目標期間6年間の懸案事項であり、その企図は高く評価される。しかし、第2回調査の受験率が著しく低かったことは、非常に残念。大学として英語力向上のための方針と計画を明確に定めていただくよう要望。

文部科学省 「未来医療研究人材養成拠点形成事業」に採択

大学の事業「地域と育む未来医療人「なごやかモデル」」が、文部科学省の「未来医療研究人材養成拠点形成事業」【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成に採択されました。

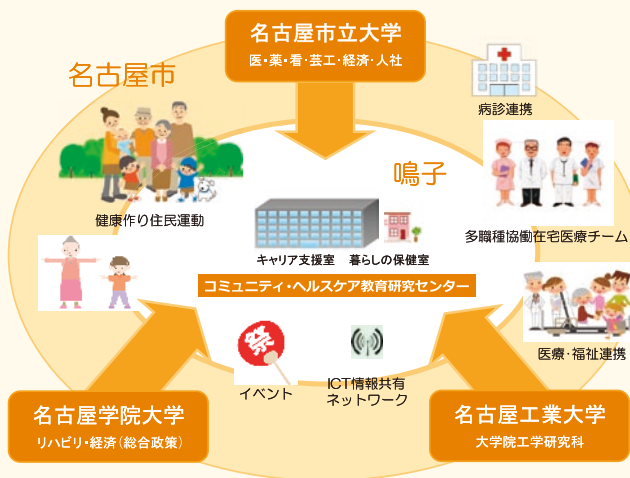
病院診療から在宅診療への医療ニーズのシフトは、単なる人口高齢化対策ではなく、未来医療へのトレンドであり、そのためには質の高いエイジング・イン・プレイス(AIP)*を実現する総合診療医等の養成が必要です。今回採択された「なごやかモデル」では、名古屋学院大学及び名古屋工業大学と連携して、AIPを支える医学・医療の発展と向上を担う医療人を養成します。本事業ではこの目的のために、超高齢化が先行する名古屋市緑区の「鳴子団地」(UR都市機構)を実践研修の場として、学生や若い人材が住民と協働してAIPコミュニティづくりに取り組みます。

全国で59件の申請があった中、採択されたのは15件。1件2億円/年に及ぶ国家プロジェクトでもあり、急速に進展する超高齢社会に伴う諸問題の解決に貢献するモデルとして期待されています。

*エイジング・イン・プレイス(AIP)

…Ageing-in-place = 住み慣れた地域で豊かな老いを迎え、健康問題を抱えてもその人らしく暮らすことができる社会の意。

地域と育む未来医療人「なごやかモデル」



名古屋市立大学交流会 「設立総会・記念講演会および懇親会」を開催

2013年10月19日(土)に、名古屋市立大学交流会の設立総会を開催し、各研究科長、看護学部長や病院長による近況報告に続き、ノンフィクション作家で評論家の柳田邦男先生による記念講演会を行いました。会場にお越しいただいた約300名の方々に向けて「人間を見る眼～専門的職業人として」というテーマでご講演いただき、専門家として「2.5人称」の視点で人を見るのが重要であるという、様々な分野の方に共通した心に残るお話でした。その後の懇親会には約150名の方々が参加され、盛会のうちに幕を閉じました。本会は卒業生、修学生、現旧教職員をはじめ名古屋市立大学にゆかりのある方々を会員として、全学的な会員相互の交流・連携により大学の発展と社会への貢献を目指すものです。活動や行事のご案内などは公式サイトにて随時掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

URL ▶▶ <http://www.koryukai.jp>



▲柳田邦男先生による講演の様子

ひらめき☆ときめきサイエンスを開催

2013年8月9日(金)、本学滝子キャンパス2号館にて、「名市大ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」を開催しました。この事業は小学校5年生～高校生が対象となっており、科学研究費補助金(KAKENHI)によって得られた研究成果を子どもたちに発信し、科学の楽しさを感じてもらおうという趣旨で実施しています。今年度はシステム自然科学研究科の田中豪講師による「デジタル画像処理を体験しよう～プログラミングと色彩科学～」というプログラムを実施。参加した高校生は、実際にカラー画像のモノクロ変換プログラムを作成するなど、熱心に取り組んでいました。

田中講師の説明を熱心に聴く高校生▶



22世紀研究所講演会を開催

2013年9月20日(金)、田辺通キャンパス宮田専治記念ホールにて、名古屋市立大学22世紀研究所講演会を開催いたしました。第1部は大阪大学大学院生命機能研究科近藤滋教授をお招きし、「生命科学の明日はどっちだ!？」をテーマに講演をいただきました。第2部では今川所長が座長となり、近藤教授と本研究所青木洋特任教授との対談形式で行い、約230名の参加者からの様々な質問に答え、大いに盛り上がりました。今後とも随時、講演会等を開催する予定です。



▲第2部 対談の様子(左より近藤教授、青木特任教授、今川所長)

人間文化研究所講演会・シンポジウム

2013年10月27日(日)、人間文化研究所主催の講演会・シンポジウムを開催しました。基調講演の講師として、ユネスコ世界遺産部門のコンサルタント経験もある、英国East Anglia大学の松田陽氏をお招きし、「パブリック・アーケオロジーから文化財保護への提言」というテーマでご講演いただき、今後の歴史・文化遺産の保護の在り方や方向性を来聴者の皆さんとともに考えることができました。またシンポジウムでは名古屋大学環境学研究科の西澤泰彦氏、名古屋市博物館学芸係長の村木誠氏、本学人間文化研究科の吉田一彦氏をパネラーに、活発な意見交換が行われました。

松田陽氏による講演会の様子▶



「中部公立3大学 新技術説明会」を開催

2013年10月29日(火)、東京・市ヶ谷のJST東京本部別館ホールにて「中部公立3大学 新技術説明会」を開催しました。本説明会は、科学技術振興機構(JST)の産学連携・技術移転事業として、大学発のライセンス可能な特許を発表する場で、中部の薬学系公立大学である静岡県立大学、岐阜薬科大学と連携して開催しております。7回目を迎える今回は6件の新技術が紹介され、本学からは2名の研究者が発表を行いました。当日は多数の企業関係者の方々にお越しいただき、発表後には個別に実用化や共同研究に向けた意見交換をするなど、研究成果の技術移転のための良い機会となりました。



▲樋口教授による説明会の様子



▲片岡准教授による説明会の様子

■ 本学発表内容

- 「立体的に遮蔽された金属ポルフィリンの効率的合成と、その特異なC-H結合活性化能」 薬学研究科 樋口 恒彦 教授
- 「癌細胞選択的新規光線力療法の開発」 医学研究科 片岡 洋望 准教授

平成25年度 永年勤続職員表彰

30年勤続表彰

井上 泰夫 教授
加藤 博之 臨床検査技師
木下 律子 助産師
黒野 正裕 係長
後藤 由美 看護師
土屋 勝彦 教授
政谷 浩子 司書
松尾 一典 薬剤師
水野 千枝子 副看護部長
和佐田 岳男 主査
和田 郁雄 病院教授

20年勤続表彰

前 隆文 教授
荒川 敦志 病院准教授
飯島 伸彦 教授
飯田 敬子 看護師
池田 慎一 准教授
岡本 尚 教授
尾崎 康彦 准教授
加藤 浩司 臨床検査技師
神谷 武 准教授
亀田 尚子 看護師
岸 由美子 看護師

郡 健二郎 教授
小林 正明 病院教授
滝野 寿 臨床検査技師
谷口 陽子 看護師
恒川 摩里 看護師
寺澤 涼子 看護師
樫本 紀夫 准教授
畑 七奈子 係長
松波 直幸 歯科技工士
三島 晃 教授
水上 元 教授

(五十音順)



◀30年勤続表彰式出席者集合写真



20年勤続表彰式出席者集合写真▶

「第1回 男女共同参画奨励賞」の受賞者決定

2013年9月、男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員および学生等に学長から表彰を行う「第1回男女共同参画奨励賞」の受賞者が、以下の3件に決定しました。



受賞者が戸辺学長を訪問▶

氏名・団体名	応募名
伊藤静香(非常勤講師)	男女共同参画社会の実現を目指し、課題解決に取り組むNPOでの活動と実践研究の展開へ
経済学部 白杵ゼミ1期生	女性に優しくするのだが —働く女性とその家族に向き合う 愛知企業のポートフォリオ—
薬学部 男女共同参画セミナー実行委員会	科学研究者にも多様性を —男女がともに活躍できる場を目指して—

学長表彰 スタート

平成25年度より学長表彰がスタートしました。本学で、教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。今年度は以下の方々表彰されました。



▲被表彰者集合写真

兼松 孝好 講師(医学研究科) 伊藤 恭彦 教授(人間文化研究科)
飯塚 成志 助教(医学研究科) 久野 紀光 准教授(芸術工学研究科)
尾関 哲也 教授(薬学研究科) 市川 誠一 教授(看護学部)
角田 隆太郎 教授(経済学研究科) 高石 鉄雄 教授(システム自然科学研究科)

大塚隆信教授が「モンゴル北極星勲章」を受勲

2013年7月、本学の大塚隆信教授がモンゴル国より「北極星勲章」を受勲しました。これはモンゴル国最高の国家勲章の一つで、モンゴルと日本の交流に貢献してきたことが高く評価されたものです。大塚教授は謝辞の中で「10年以上にわたりモンゴル国の医科大学、整形外科病院、母子病院、癌センター、県病院などの医療施設にて講演、診察、医療設備整備などに携わってまいりましたが、その時々にお会いしたモンゴルの人々の温かい気持ちが忘れられません」と述べるなど、モンゴル国大統領へ感謝の意を表しました。



▲大塚教授(左)が戸辺学長を訪問



受賞

※受賞期間：2013年8月1日～2013年10月31日 ※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に表示

医学研究科



- 日本尿路結石症学会 第23回日本尿路結石症学会学術集会 学術奨励賞(基礎研究部門)
- The 2nd Meeting of the EAU Section of Urolithiasis (EULIS)
The award for best urolithiasis paper in the recent literature

腎・泌尿器科学分野 講師 岡田 淳志



- 日本消化器癌発生学会 2013年研究奨励賞

消化器・代謝内科学分野 臨床研究医

田中 守



- 日本排尿機能学会 第20回 日本排尿機能学会 学会賞(基礎部門)

腎・泌尿器科学分野 臨床研究医

濱川 隆



- 一般社団法人 日本泌尿器科学会 第261回 日本泌尿器科学会東海地方会 優秀発表賞

腎・泌尿器科学分野 助教

安藤 亮介



- 日本サイコオンコロジー学会 第26回 日本サイコオンコロジー学会 総会ベストポスター賞「優秀演題」

緩和ケア部 臨床研究医

菅野 康二

薬学研究科



- 日本生薬学会 平成25年度 日本生薬学会学術奨励賞

生薬学分野 助教

寺坂 和祥



- 中国サクセスフル・デザイン・アワード 年度最成功設計賞

教授

國本 桂史

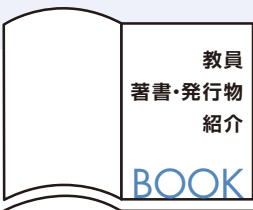
システム自然科学研究科



- 一般社団法人情報処理学会 第12回情報科学技術フォーラム FIT奨励賞

講師

田中 豪



教員 著書・発行物 紹介

最近発行された教員の 著書・発行物等を紹介いたします

教職員の皆様へ

本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。

※発行月順に表示。



日本翻訳特別賞受賞! ユダヤ小百科

本学土屋教授ほか9名によって共同翻訳された「ユダヤ小百科」が日本翻訳特別賞を受賞しました。

出版社：水声社 2012年12月

編者：ユーリウス・H・シェプス

訳者：人間文化研究科 教授 土屋 勝彦 ほか9名



THE SHADEMAKERS

出版社：Outskirts Press, Inc 2012年6月

人文社会学部 外国人教師

Paul Binford



バチカン近現代史 ローマ教皇たちの「近代」との格闘

出版社：中央公論新社 2013年6月

人間文化研究科 教授 松本 佐保



企業の枠を超えた賃金交渉 日本の産業レベル労使関係

出版社：旬報社 2013年7月

経済学研究科 教授 松村 文人



協働するナラティブ

出版社：遠見書房 2013年7月

人間文化研究科 教授 野村 直樹



日本の「ゲイ」とエイズ コミュニティ・国家・アイデンティティ

出版社：青弓社 2013年7月

男女共同参画室 新ヶ江 章友



名古屋の観光力 歴史・文化・まちづくりからのまなざし

出版社：風媒社 2013年9月

人間文化研究科 教授 山田 明・吉田 一彦 編



Research on Diabetes I

出版社：iConcept Press 2013年10月

消化器代謝内科

谷田 諭史・城 卓志

平成25年7月2日～10月1日 異＝異動 昇＝昇任

採用

▼事務局 学術課

事務系職員(学術企画係) 内野 咲子

▼医学研究科

准教授(実験病態病理学) 久野 壽也
 講師(麻酔・危機管理医学) 草間 宣好
 助教(耳鼻咽喉・頭頸部外科学) 尾崎 慎哉
 助教(放射線医学) 武藤 昌裕
 助教(脳神経外科学) 山田 紘史
 助教(神経内科学) 川嶋 将司
 助教(医学・医療教育) 村上 里奈
 衛生技師(共同研究教育センター) 高瀬 弘嗣
 衛生技師(分子神経生物学) 鶴飼 聖子

▼看護学部事務室

事務系職員(学務係) 岡庭 潤子

▼病院 リハビリテーション部

育児休業等代替専門職員(理学療法係) 友 春香

▼薬剤部

育児休業等代替専門職員(調剤係) 石黒 彩子

▼臨床試験管理センター

技術系職員 足立 禎美

▼管理部 医事課

主事(医事係) 千葉 奈美
 管理栄養士(栄養管理係) 由比濱 理絵子
 管理栄養士(栄養管理係) 伊藤 茜

異動

▼医学研究科

(昇)講師 金子 奈穂子(再生医学)(助教より)
 (昇)准教授 松尾 洋一(消化器外科学)(講師より)
 (昇)講師 原 賢康(消化器外科学)(助教より)

▼薬学研究科

(昇)講師 矢木 宏和(助教より)

▼病院 看護部

(異)看護師 有賀 みはる(看護事務室)(16階北より)
 (異)看護師 田中 啓子(看護事務室)(9階南より)
 (異)看護師 奥村 和恵(歯科口腔外科外来)(中央手術部より)
 (異)看護師 山内 あずさ(中央手術部)(15階北より)
 (異)看護師 杉浦 はづき(中央手術部)(16階南より)
 (異)看護師 森 久美子(救命救急センター)(14階北より)
 (異)看護師 中川 紗代(NICU・GCU)(9階北より)
 (異)看護師 加藤 綾子(NICU・GCU)(16階北より)
 (異)看護師 鶴田 礼佳(15階北)(8階南より)
 (異)看護師 花井 瞳(12階南)(NICU・GCUより)

退職

▼事務局 学術課

事務系職員(学術企画係) 小森 美来

▼医学研究科

講師(消化器外科学) 舟橋 整
 講師(放射線医学) 森 美雅
 助教(耳鼻咽喉・頭頸部外科学) 大橋 卓
 助教(産科婦人科学) 大林 伸太郎

▼看護学部

講師 西野 弘員

▼看護学部事務室

事務系職員(学務係) 森 由美

▼病院 中央放射線部

育児休業等代替専門職員(撮影技術係) 堀内 一樹

▼看護師

看護師(NICU・GCU) 倉橋 美紗乃
 看護師(15階北) 宮木 麻衣
 看護師(10階南) 黒田 里美
 看護師(11階南) 長谷川 聡美
 看護師(11階南) 石田 麻那美
 看護保健職員(12階南) 中島 真弓

国際交流

協定校イタリア・トリノ工科大学より研究員受入

2013年10月より芸術工学研究科ではイタリアの協定校の一つであるトリノ工科大学から博士課程2年の学生モハメド・サデグ・リヤヒ・アラムさんを横山研究室の研究員として受入れており、同研究室にて約7カ月に渡り医用画像処理に関する研究活動を行う予定です。サデグさんは日本の大学の研究室はチームで取り組むことが多く、個々で研究することが中心のイタリアと違ってとても興味深いと話していました。学生や教員の様々な交流・研究を通じて、トリノ工科大学との関係がさらに発展していく事を目指します。



横山研究室にて。横山先生(右)、サデグさん(中央)、高橋一誠さん(左:9月までトリノ工科大学に在学)▲

平成25年度 外国人客員研究員の招へい(11月1日現在)

外国人客員研究員等招へい者			研究課題名
氏名/国籍	現職	招へい期間	
Ilma Rakusa (イルマ・ラクサ) /スイス	作家・大学講師 (チューリッヒ大学)	10月20日～ 11月3日	ドイツ語圏移民文学におけるオムニフォンの諸相
MA. Sheila Mangalonzo-de Jesus (マリア・シェイラ・マンガ ロンゾ・デ・セーセ) /フィリピン	Assistant Professor III, Department of Biological Sciences, College of Sciences, University of Santo Tomas (助教、サント・トマス大学 理学部生物科学科)	10月21日～ 11月7日	全身性エリテマトーデス患者における内在性レトロウイルス(HERV)に対する自己抗体の測定系の構築と患者血清を用いた探索
Sebastiano Foti (セバスティアノ・ フォティ) /イタリア	Associate Professor, Department of Structural and Geotechnical Engineering, Politecnico di Torino (准教授、トリノ工科大学構造・ 地盤工学部)	11月8日～ 11月17日	地盤-構造物の 連成問題



上手に悩むには

カウンセラー 田形 高子



悩みは、誰にでも、生じてくるものだと思います。悩みがないことも、悪くはないのですが…。悩みがあることは弱いことではないと思います。いかに悩むかが、大切なことかもしれせん。悩むことは、人生の重要な岐路に立っていることを教えてくれていることが多いと思います。悩みすぎて、うつ病になっているにしても、そこから新しい人生に踏み出すことになることは、たくさんあります。しんどい思いをすることは、無駄ではないことが多いのです。しかし、エンドレスに悩みの穴にはまってしまって、自分だけでは、抜け難い時もあるでしょう。そういう時に、相談室はお手伝いできると思います。少し、客観的な観点から、アドバイスも可能かもしれませんし、臨床心理士に話すことによって、自分で気付けることも多いと思います。ちょっと話に来てみては、いかがでしょうか。

詳しくは、下記教職員限定サイトを参照ください
 教職員限定サイト > 倫理・メンタルヘルス >
 教職員のためのメンタルヘルスケア
<https://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/mentalhealth/>

悠ごきそ心理相談室(事前予約制)
 TEL741-7010 地下鉄御器所駅6番出口徒歩1分
 月～土10:00～19:00(祝日、年末年始を除く)

イベントカレンダー

詳細はホームページをご覧ください。▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

イベント名	主催者	開催日時・場所	申込方法
第82回 サイエンスカフェ イン 名古屋 「身の回りにあふれる色 ―光と分子の織りなす美しい世界―」	システム自然科学 研究科	11月15日(金) 18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク7階 7th cafe(セブンスカフェ)	メール・FAX・電話 scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL 872-5802 FAX 872-1531
第63回 サイエンスカフェ 「心理学の立場から見る、 愛国心・ナショナリズム・多文化主義」	人間文化研究所	12月7日(土) 15:00~17:00 サクラサイドテラス	メール・FAX・電話 institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL・FAX 872-3536
男女共同参画総括シンポジウム 「多様性のあるゆたかな社会のさらなる実現に向けて ―大学における男女共同参画の将来と展望―」	男女共同参画室・ 女性研究者支援室	12月13日(金) 13:30~17:00 病院病棟・中央診療棟 3階大ホール	12月12日(木)までに事前申込 sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
第83回 サイエンスカフェ イン 名古屋 「あなたのスマホは大丈夫?」	システム自然科学 研究科	12月20日(金) 18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク7階 7th cafe(セブンスカフェ)	メール・FAX・電話 scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL 872-5802 FAX 872-1531
卒業・修了制作展	芸術工学部	2月18日(火)~2月23日(日) 市民ギャラリー矢田	申込不要
第64回 サイエンスカフェ 「「こころ」を測定することから心理学は始まる」	人間文化研究所	2月22日(土) 15:00~17:00 サクラサイドテラス	メール・FAX・電話 institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL・FAX 872-3536

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

■個人

10,000円以上 青木 俊彦 様 井手 康広 様
長谷川 幸七郎 様

5,000円以上 伊藤 利之 様 西川 宗明 様
非公表 石黒 裕規 様 大村 美智子 様
笠原 健二 様 左 立 様 塚本 玉枝 様
堀 正之 様 吉川 正一 様

■団体

350万円 日本税理士会連合会 会長
池田 隼啓 様

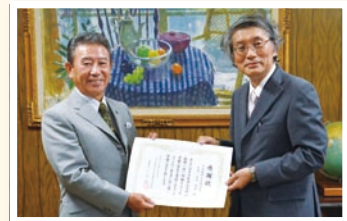
(五十音順・公表に同意された方。2013年7月1日~9月30日現在)

日本税理士会連合会寄附講座を開設

本学経済学部は日本税理士会連合会から寄附(25年度・26年度350万円、27年度300万円、計1,000万円)を受け、寄附講座「特別講義Ⅴ:租税の制度と実務」を今年度に開設しました。10月9日(水)、この寄附講座の一環として、日本税理士会連合会会長の池田隼啓(いけだ としひろ)氏が来学され、「現代社会における税理士の使命」と題する講義を行われました。



▲池田会長の講義の様子



▲森経済学研究科長(右)から池田会長(左)へ戸莉理事長からの寄附感謝状を贈呈



平成25年 秋の叙勲

ご受章おめでとうございます。

受章者：馬嶋 昭生 瑞宝中綬章
(名古屋市立大学名誉教授、元医学部教授)

受章日：平成25年11月3日

■ 本学歴史年表に関するお知らせ

前号「創新2013年Vol.10夏号」にて「本学歴史年表」を初めて作成し掲載させていただきました。その際、これまで昭和6年(1931年)とされていた本学の前身となります「名古屋市民病院」の開設を、初代学長の戸谷銀三郎先生の病院長兼内科部長の辞令発令日が昭和5年(1930年)12月21日でありましたことから、昭和5年(1930年)と記載させていただきました。この時をもって開設とすることも考えられますが、設置根拠規程の「名古屋市民病院条例」が昭和6年(1931年)6月8日に公布、同年7月10日に施行されたことが、名古屋市の公文書に明記されておりますことから、ここに「名古屋市民病院」の開設を昭和6年(1931年)に修正させていただきます。(学長 戸莉創)

▶ ご意見・情報募集中!

学内広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。また、広報に関する報告・相談には「広報ホットライン」をご活用ください。

教職員限定サイト ▶▶▶ <http://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/hotline>

<ご協力ください> 敷地内・周辺道路は禁煙です。



発行/平成25年11月
事務局入試広報課 TEL: 052-853-8328 FAX: 052-853-0551
E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp
名古屋市立大学ウェブサイト ▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/>